

# I 基礎研究 用語の確認

## 道徳科における見方・考え方

様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで(広い視野から)多面的・多角的に捉え、自己の(人間としての)生き方について考えること

## 道徳的価値と内容項目

道徳的価値とは、よりよく生きるために必要とされるもの、人間としてのあり方や生き方の礎となるもの。学校教育では、これらのうち、発達の段階を考慮して、子供一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要なものを内容項目として取り上げている。

## 道徳的諸価値についての理解

- 【価値理解】 道徳的価値が、人間として生きる上で大切であること(意義, 心構え)
- 【人間理解】 大切ではあるがなかなか実現することができない人間の弱さの理解(心の弱さ)
- 【他者理解】 道徳的価値に関わる感じ方・考え方は一つではない、多様であること(理解)

## 道徳性の諸様相

- 【道徳的判断力】 善悪を判断する能力
- 【道徳的心情】 道徳的価値の大切さを感じとり、善を行うことを喜び、悪を憎む感情
- 【道徳的実践意欲・態度】 価値があるとされた行動をとろうとする傾向性

## 2 ねらいとする道徳的価値を重視した指導の工夫

### (1) 教材研究

- 【価値分析】 全体像(系統性)を把握し、発達段階の違いや共通点を見出す。道徳的価値理解の三本柱から分析を行う。価値理解・人間理解・他者理解
- 【実態分析】 発達段階を踏まえた実態分析, 学級の実態分析(個人, 集団) → 指導方法を導く
- 【教材分析】 教材のどの部分を考えるか。ねらいに迫れるか。教材のどこで何を議論するか。

### (2) 問いを深める

「考え議論する道徳」= 思考のロジックを体験させること  
自分の共同体の社会的規範が「公の規準」で  
「私の規準」私が一番大切にしている価値の規準

- 世の中にはどのような価値観があるのかを浮き彫りにする。  
物事を多面的・多角的に捉える作業
- 自分の価値観が正しいとか間違っているとかではなく、  
他者の価値観を知り、他者の価値観を尊重すること  
= 絶対化でなく、自分を相対化 自身の価値規準に気付く。  
価値規準を多様にもつ 人間の行動は、価値の規準の選択

## 3 「考える技」を具体化した指導方法の工夫

- 読み物資料の登場人物への自我関与が中心の学習
  - 役割演技 自由な即興表現で対話的に学ぶ有効な手法
  - 中心人物以外の人物の視点からも考えられる
- 問題解決的な学習
 

問いについての自身の考えを対話によって相互作用を促すかわり方として、発問、発言のつなぎ、自他の意見を比較・関係付けるきっかけなどとして効果を発揮する。
- 道徳的行為に関する体験的な学習
  - 実際に演じて、自己を見つめ、相手の気持ちを考える。
  - 思考ツールで他者の多様な考えにも気付かせる。

## 考える技を使ってみよう

<p style="text-align: center;"><b>順序</b></p> <p style="text-align: center;">まず 次に 最後に</p>	<p style="text-align: center;"><b>理由</b></p> <p style="text-align: center;">なぜなら～ 理由は～</p>
<p style="text-align: center;"><b>順位</b></p> <p style="text-align: center;">1番目は 2番目は</p>	<p style="text-align: center;"><b>付け加え</b></p> <p style="text-align: center;">付け加えると</p>
<p style="text-align: center;"><b>比較</b></p> <p style="text-align: center;">□と○のちがいは</p>	<p style="text-align: center;"><b>選ぶ</b></p> <p style="text-align: center;">○と□、どちらか</p>
<p style="text-align: center;"><b>仲間分け</b></p> <p style="text-align: center;">似ているものをまとめると</p>	<p style="text-align: center;"><b>言いかえ</b></p> <p style="text-align: center;">言いかえると つまり</p>
<p style="text-align: center;"><b>共通点</b></p> <p style="text-align: center;">□と○と△の共通点は □と○からわかることは</p>	<p style="text-align: center;"><b>推測</b></p> <p style="text-align: center;">多分～と考えたのだろう</p>
<p style="text-align: center;"><b>関係</b></p> <p style="text-align: center;">□と○との関係は □と○を結びつけると</p>	<p style="text-align: center;"><b>例示</b></p> <p style="text-align: center;">例えば 例をあげると</p>
<p style="text-align: center;"><b>あてはめ</b></p> <p style="text-align: center;">きまりに当てはめると</p>	<p style="text-align: center;"><b>逆思考</b></p> <p style="text-align: center;">逆に～でない場合は</p>
<p style="text-align: center;"><b>仮定</b></p> <p style="text-align: center;">もし～ならば ～でなければ</p>	<p style="text-align: center;"><b>置きかえ</b></p> <p style="text-align: center;">簡単な数にかえてみると</p>
<p style="text-align: center;"><b>類推</b></p> <p style="text-align: center;">同じように～できるか</p>	<p style="text-align: center;"><b>条件</b></p> <p style="text-align: center;">～になるための条件は ～の条件に合うのは</p>
<p style="text-align: center;"><b>まとめ</b></p> <p style="text-align: center;">まとめると 結論として</p>	

4 本時の授業づくりにあたって 主題名 広く受け入れる心「ブランコ乗りとピエロ」 日本文教出版6年

(1) 内容項目について

B 主として人との関わりに関すること [相互理解, 寛容]

[第3学年及び第4学年]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、**相手のことを理解**し、自分と異なる意見も大切にすること。

[第5学年及び第6学年]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、**謙虚な心**をもち、**広い心**で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

関連性のある内容項目

B [友情, 信頼] 友達と**互いに信頼し, 学び合**って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。

C 主として集団や社会との関わりに関すること [よりよい学校生活, 集団生活の充実]

先生や学校の人々を敬愛し、**みんなで協力し合**って**よりよい学級や学校をつ**くるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して**集団生活の充実に努**めること。

(2) 主題のねらい

◎ **謙虚な心**をもち、**広い心**で自分と異なる考えや立場を認め、尊重していこうとする。

理解, 判断力	異なる意見をよく聞くことで, 相手への理解が深まるということが分かる。
心情	相手の考えや立場を尊重し, 互いに高め合える関係にすばらしさを感じる。
実践意欲と態度	互いに高め合う集団を求めて, 謙虚な心で相手を尊重していこうとする。

(3) 道徳的価値の分析の3観点

意義	(価値のもつ役割) 異なる意見を聞くことはなぜ大切なのか, それを大切にすることのよさ 自分と異なる立場や考え方を相互理解→望ましい人間関係構築, 自らや集団の高まり・充実 多様な人間の多様な価値規準の理解→共によりよく生きる <b>【価値理解】【他者理解】</b>
心構え	(そのためには~が大切である) 自分に対して謙虚になる, 他人に対して寛容である 広い心 他人の過ちを許すことができるのは, 自分も過ちを犯す存在だと自覚しているから。
心の弱さ	自分の立場を守るため, 異なる考え方を受け入れない, 自己本位, 損得感情, 困難さなど 自分自身も至らなさや弱さをもっている存在 自分を謙虚に見る <b>【人間理解】【他者理解】</b>

自分に対して謙虚であるからこそ, 他人に対して寛容になることができる。寛容さと謙虚さが一体のものとなったときに, 広い心が生まれ, 人間関係を潤滑にするものとなる。

中心発問: ピエロがブランコ乗りを許したのはなぜか?

私の欲求と公からの欲求(社会からの要請)との対立で道徳的問いが生まれる。

